

原子力規制委員会物品・役務等に係る契約適正化監視等委員会
審議概要

開催日及び場所	平成29年12月25日（月） 原子力規制庁内会議室
出席委員	委員 南島和久（新潟大学人文社会・教育科学系（法学部）教授） 委員 前田泰宏（新日本有限責任監査法人公認会計士） 委員 升田 純（中央大学法科大学院教授、弁護士） 委員 山形康郎（弁護士法人関西法律特許事務所弁護士）
審議対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
委員会概要	<p>1. 委員長選出及び委員会の運営等について 委員の互選により升田委員を委員会委員長に選出。また、委員会の運営に関する事項等について了承。</p> <p>2. 平成28年度の契約に係る点検・見直しについて (1) 全体の契約状況（契約方式、件数、金額等） 事務局から資料に基づき説明及び質疑応答 (2) 契約手続きの点検・見直し 事前に抽出した個別案件について、担当課室からの説明及び質疑応答 (3) 審議全体を踏まえて総括</p> <p>3. その他 次回開催日程 他</p>
抽出案件 （総数6件）	○ 競争入札方式（総合落札方式） 1件 ○ 競争入札方式（最低価格落札方式） 1件 ○ 企画競争入札方式 1件 ○ 参加者確認公募方式 1件 ○ 競争性のない随意契約 1件 ○ 不落随意契約 1件
委員の意見等	別紙のとおり （勧告はなし）

審議全般を通しての主な意見、感想等

- 不落随意契約については、仕様書作成時、見積工数に影響を与える部分については明確に記載していくことが求められる。応札者が当初から仕様を十分に理解していたならば、不落とならず、契約金額も低くなった可能性もあるかもしれない。

- 研究関係の委託契約についても、一部を分割し請負契約にするなど工夫によって複数者の応札が期待できるものもあるのではないか。

- 原子力政策の特殊性はあるものの複数者応札になるよう、様々な方法で絶えず努力を続けることが必要である。

以 上